



すみだ北斎美術館 企画展のご案内

## Hokusai Beauty ~華やぐ江戸の女たち~

2018年2月14日(水) ~ 4月8日(日)

前期: 2月14日(水) ~ 3月11日(日) / 後期: 3月13日(火) ~ 4月8日(日)

### 江戸美人のトレンド、ファッション、北斎が追及し続けた究極の美人画とは？

北斎は70年に及ぶ画風の変遷の中で、特徴的な美人のスタイルを確立していきます。古くから日本美人の型とされている、うりだね顔の<楚々とした女性>から、次第にボリュームのある<艶やかな女性>を描くようになっていきました。「富嶽三十六景」などの風景画で知られる北斎ですが、特に壮年期は、美人画家の北斎、戯作者の京伝と当時の洒落本において並び称されるほどでした。本展では、当館所蔵の北斎とその弟子たち一門の描いた美人画と、江戸の女性風俗を伝えるポーラ文化研究所所蔵の結髪模型などの資料等を合わせて、130点ほどの作品や資料から北斎の美人画の魅力を伝えるとともに華やかな江戸美人の世界をご紹介します。

↓画像をクリックすると企画展動画がご覧いただけます↓



葛飾北斎「枕草子を読む娘」(前期)



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## ■ 展示構成

### 第1章 北斎美人七変化—美人様式のうつりかわり



美人のありかたは時代によってさまざまです。私たちがシーズンごとに新しいメイクで美しい顔を追及するように、北斎が描く常に新しい美人画の姿は当時の人の憧れを作っていたのかもしれませんが。こちらはおしとやかな印象の宗理時代の美人。北斎の美人画の原点、そしてたどり着いた美人画の姿とは。会場でお確かめください。

葛飾北斎「巳待」(後期)

### 第2章 華麗なるファッション・ヘアスタイルの世界

江戸の人々はととても粋だった！北斎の描いた美人たちの着物、そしてかんざし、くし、こがしなどの装飾品、化粧道具といった、江戸の女性たちの華麗なるファッション・ヘアスタイルをご紹介します。

江戸時代のトレンド笹色紅にも注目！

※笹色紅・・・本紅を塗り重ねると、光によって緑から玉虫色に見えるためこう呼ばれていました



葛飾北斎  
「枕草子を読む娘」(前期)

花魁の代表的な髪型の模型も展示



葛飾北斎「花魁と禿囃」(後期)



横兵庫／ポーラ文化研究所蔵

### 第3章 北斎スクールの美人たち



北斎は自分の画風に門人にかたくに守らせようとすることはありませんでした。北斎の画風を受け継ぐのみならず、独自の展開をしたり外的影響を受けた門人など様々です。豊かに花開いた門人それぞれの美人画をお楽しみください。当館所蔵の応為の版本も展示します！

葛飾応為『女重宝記』(全期)



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## ■本展の見どころ

### 「北斎の美人画の変遷」 1章 北斎美人七変化－美人様式のうつりかわり

北斎は70年にも及ぶ長い画業の間、さまざまに画風を変えています。初期の春朗期から宗理様式の時代、さらに「葛飾北斎」や「戴斗」と名乗る読本挿絵の時代、そして晩年に至るまで美人のスタイルも同じように変化しています。北斎が描いた、時代ごとの美人たちをお楽しみください。

### 「江戸時代のファッション・ヘアスタイル」 2章 華麗なるファッション・ヘアスタイルの世界

北斎の作画の特色は、構図や発想が大胆である一方、描き込みや筆使いが非常に緻密なことです。その特色は美人画においても発揮されていて、細かな衣装の文様の描写や装飾品の描写等も見どころです。

### 「北斎美人画の系譜」 3章 北斎スクールの美人たち

北斎には、孫弟子まで含め200人を超える門人がいたとされており、その門人たちの画風は様々です。その理由は北斎自身、約70年に及ぶ長い画業の間、画風を変化させ続けていたため、受け入れる時期によって門人たちに与える影響も異なっていたからと考えられています。また、自分の画風をかたくなに守らせようとするよりも、大らかに育成していたことが、門人たちの様々な画風から感じられます。本章では、北斎スクールの面々が残した一門の美人画をご紹介します。

## ■リーフレット販売

本展の世界観をより楽しんでいただけるリーフレットを販売いたします。「北斎の美人画の変遷」、「江戸の女性のファッションアイテム」などの注目すべきポイントを、わかりやすくお伝えできるファッション誌風のリーフレットを制作しました。江戸美人たちがモデル風に登場するページは必見です。

## ■開催概要

展覧会名：Hokusai Beauty～華やぐ江戸の女たち～

会期：2018年2月14日（水）～4月8日（日）

前期：2月14日（水）～3月11日（日） 後期：3月13日（火）～4月8日（日）

主催：墨田区・すみだ北斎美術館

監修：村田孝子（ポーラ文化研究所シニア研究員）

協力：ポーラ文化研究所

お問い合わせ：すみだ北斎美術館

観覧料：AURORA（常設展示室）も観覧いただけます。

一般1000円（800円）、高校生・大学生700円（560円）中学生300円（240円）

65歳以上700円（560円）、障がい者300円（240円） ※（ ）は団体料金

**きもの割引実施** 期間中、着物で来館された方は当日の観覧料が団体割引でご覧いただけます

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生（高専、専門学校、専修学校生含む）は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の

1名まで障がい者料金でご覧いただけます。（入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします）

◎本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA(常設展示室)もご覧になれます。

【すみだ北斎美術館】

開館時間：9:30-17:30（入館は17:00まで）

休館日：毎週月曜日

住所：〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2

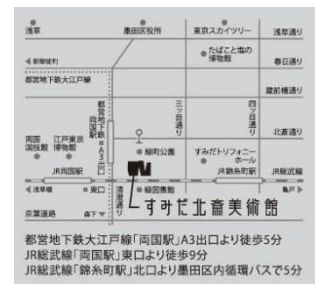
電話：03-5777-8600（ハローダイヤル）

公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/Beauty>

公式Twitter：<http://twitter.com/HokusaiMuseum/>

公式Facebook：<http://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/>

公式Youtube：<https://www.youtube.com/channel/UC2ywkXcxhYowjfoAk2LflRg>



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: [hm-pr@hokusai-museum.jp](mailto:hm-pr@hokusai-museum.jp)



すみだ北斎美術館



当館の魅力は、企画展とともにバラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など「つながる」に根差した連動企画があります。詳細は、ホームページを通じてお知らせします。

## ■ Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～ 関連イベントのお知らせ

### <講演会・スライドトーク>

#### 1、イベント「江戸の遊女はファッションリーダー～江戸の髪結い実演～」

講師：村田孝子（ポーラ文化研究所シニア研究員）、林照乃（結髪師）他  
 場所：MARUGEN100（当館講座室）  
 日時：2018年3月3日（土） 14：00～16：00（開場13：30）  
 定員：60名  
 料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）



※髪結い実演の様子  
 （提供：ポーラ文化研究所）

#### 2、スライドトーク「Hokusai Beauty～華やぐ江戸の女たち～展のみどころ」

講師：当館学芸員  
 場所：MARUGEN100（当館講座室）  
 日時：2018年2月17日（土）、3月17日（土）  
 両日とも14：00～14：30 予定（開場13：30）  
 定員：60名  
 料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

#### 3、講演「猫と浮世絵ビューティー」

講師：長井裕子（那珂川町馬頭広重美術館主任学芸員）  
 場所：MARUGEN100（当館講座室）  
 日時：2018年3月11日（日） 14：00～15：30（開場13：30）  
 定員：60名  
 料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

#### 4、講演「応為の美人画-父・北斎が認めたその実力とは」

講師：日野原健司（太田記念美術館主席学芸員）  
 場所：MARUGEN100（当館講座室）  
 日時：2018年3月21日（水・祝） 14：00～15：30（開場13：30）  
 定員：60名  
 料金：無料（ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です）

### <伝統工芸職人の技披露と体験会>

墨田区はものづくりの街として栄え、様々な職人が集まっている土地です。今回は、江戸・Beauty・すみだにちなんだワークショップなどを企画。「すみだの職人」の技術を目で前で見ながら、伝統「すみだ」工芸の体験会も開催します。

#### 1、「江戸木目込人形」の技お披露目と体験会

木彫りの人形の衣裳の部分に溝を彫って、布製を糊で埋めていく技法による人形です。こちらの伝統工芸の技を確かめていただきながら、実際に人形も作れるワークショップを開催します。匠の技から生まれた人形の即売会も同時開催します。料金、定員、参加方法など、詳細は当館 HP でお伝えします。

講師：塚田詠春（墨田区伝統工芸保存会、江戸木目込人形師）  
 場所：MARUGEN100（当館講座室）  
 日時：2018年2月12日（月・祝）  
 ① 10：30～12：30（終了予定）  
 ② 14：00～16：00（終了予定）



※作品例



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
 E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## 2、「江戸切子」の技お披露目と体験会

ガラスの表面にカットを刻み様々な模様を作り上げていく技を披露します。今回は簡単な模様を作る江戸切子の体験を実施。繊細かつ優雅な江戸切子の世界をお楽しみください。こちら展示即売を予定。料金、定員、参加方法など、詳細は当館 HP でお伝えします。

講師：山田真照(墨田区伝統工芸保存会、江戸切子職人)

場所：MARUGEN100 (当館講座室)

日時：2018年2月12日(月・祝)

① 10:30~12:30 (予定)

② 14:00~16:00 (予定)



※作品例

## 3、北斎作品をあしらった着物の展示

墨田区伝統工芸保存会、江戸小紋職人、中条隆一により制作された、北斎の作品をデザインした訪問着の展示を行います。「富嶽三十六景 従千住花街眺望ノ不二」をテーマに繊細な模様が様々な色で染られており、熟練された技は必見です。

北斎訪問着展示協力：大松染工場

場所：3階ホワイエ

日時：企画展開催期間中



※展示が異なる場合がございます

## <その他のワークショップ>

### 櫻井焙茶研究所 Presents「葛飾北斎とお茶」

青山にお店を構える季節を取り入れたお茶のブレンドで有名な日本茶専門店「櫻井焙茶研究所」をお呼びしてお茶のワークショップを開催いたします。今回は、茶葉の品質を客観的に評価するカップリング形式にて18種類の日本茶を試飲していただきます。製法や淹れ方の違いによってどのように味が変わるかなど、合わせてお茶とフレッシュハーブ、フルーツを使ったブレンドもご紹介いたします。

講師：櫻井焙茶研究所

場所：MARUGEN100 (当館講座室)

日時：2018年2月18日(日)

① 13:30~14:30

② 15:00~16:00



櫻井焙茶研究所  
SAKURAI JAPANESE TEA EXPERIENCE



## News !! グリーティング動画を作りました

この度、すみだ北斎美術館では、初めての試みとして動画を制作いたしました。本展で展示予定の華やかな作品を動画にてお楽しみいただけます。グリーティングとして、また本展のご案内などにお使いいただけますと幸いです。

URL:<https://www.youtube.com/watch?v=ROni5sxPgL0>



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992

E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## ◇表記に関するご注意◇

- 北斎作品にはクレジット表記をお願いします ⇒「所蔵:すみだ北斎美術館」または「すみだ北斎美術館蔵」
- <葛飾北斎>の表記にご注意ください。

誤)葛 ⇒ 中が「ヒ」 正)葛 ⇒ 中が「人」

## ■今後の企画展予定

◇2018年4月24日(火)～6月10日(日)

企画展 仮)「変幻自在!ウォーターランド～」



北斎といえば、代表作「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」が有名ですが、他にも多くの水を描いた作品を残しています。うねり、波立ち、きらめく変幻自在な水の表情を見逃さず、人々の生活によりそう穏やかな川の流れや、時にはダイナミックに立ち上がる波の姿までを劇的にとらえています。本展では、「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」や、各地の滝をテーマとした「諸国瀧廻り」シリーズを前後期あわせ全点展示する他、館蔵品から選りすぐりの葛飾北斎とその一門が描く多彩な水の表現をお楽しみいただけます。

葛飾北斎 『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』



つながる  
墨田区

報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館